

提 案 概 要

実施期日	7月28日(火)【午後】
部会名	小学校 総則部会

1 提案テーマ 『地域協働カリキュラムを創る ～児童の主体的な学びを深めるために～』

2 学年 全学年

3 平成27・28年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

① 学習指導要領の内容を踏まえた特色ある教育課程の編成の工夫・改善

4 学習指導要領との関連

第1章 総則 第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

2(2) 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。

(12) 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めること。(後略)

5 実践に向けての課題意識

本校は駅近くの街なかであり、複数の公共施設や駅前商店街に囲まれている。かつては商店街を中心にコミュニティが成立していたが、近年は高層住宅や大型店舗が建ち並び、地域のつながりの様態が変わりつつある。児童の多くが大型店舗で買い物をし、商店街を利用する機会は少ない。一方で、児童が地域ボランティアに通学時の安全を見守ってもらったり、地域の祭りに参加したりといったかかわりもまだ残っている。

児童が興味・関心をもった課題について、活動の場を地域まで広めていけるようなカリキュラムを開発し、地域の貴重な人的・物的資源を生かしながら児童の学びを深めていきたい。

6 実践の概要

○「商店街」や公共施設との協働プロジェクト

- ・商店とのコラボレーションによる出店プロジェクト：土曜参観日に学校で開催→平日に商店街駐車場で開催
- ・フラワーロードプロジェクト：出店の売り上げで花の苗を買い、商店街の道路沿いに植える
- ・C-m a pプロジェクト：店舗や公共施設を紹介した巨大学区地図をつくり、商店街などに掲示
- ・お祭り出店プロジェクト：商店街の夏祭りにお店を出す
- ・青少年会館・コミュニティセンター主催のイベントへの参加：自作劇の上演、合奏やダンスの披露

○地域の人材を活用した学習活動

- ・醤油づくり：保護者や地域の搾り師に指導協力を仰ぎ、醤油を手づくり→給食で使用
- ・米づくり：地域の米店や農家に指導協力を仰ぎ、校地内に水田をつくってもち米を栽培→もちをつき販売

7 成果と課題

[成果]○商店主や職人、農家など、地域の「本物の力」に触れ、児童が地域を見つめ直すことができた。

○地域の方とかかわりながら問題解決的な学習を行うことを通して、児童のコミュニケーション能力や、主体的に課題を解決しようとする力が育った。

○地域の方からも活動を評価してもらうことにより、児童が自信をもって活動し、充実感や達成感を得ることができた。また、児童の新たな活動への意欲が高まった。

○児童の活動のために複数の団体が協力体制をとるなど、地域コミュニティに変化の兆しがみられた。

[課題]○児童の学びをつなげ、深めるために、活動に即した各教科等との関連づけをどう図っていくか。

○学校全体で日常的・継続的に取り組んでいける地域協働カリキュラムをどのようにつくっていくか。

(児童の活動状況に応じた、地域の方との「適時適材適所」のかかわり、地域コーディネーターとの連携等)

8 予想される協議の柱

○児童の主体的な学びを促すために、各学校で取り組んでいる地域協働・連携カリキュラムについて(連携の方法、各教科等との関連)